

教科	家庭	科目	家庭総合
履修条件 対象生徒	全員履修 デザイン科 3学年		
学習目標	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。		
学習方法	<p>[授業] (週2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な事例や実験・実習などを通して、自分の生活に結びつけて学習できるように、問題解決的な授業を重視する。 <p>[家庭]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習で得た知識や技術を実際の生活に活用させる。 夏季休業中の課題「ホームプロジェクト(Home Project)」に取り組む。 これは、各自が自分の生活の中から問題を見つけ出し、家庭科で学習した知識や技術を生かして解決方法を考え、計画を立てて実践する問題解決学習である。 <p>[補習・その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校家庭科には、「学校家庭クラブ」という組織があり、家庭科を学習する生徒は全員、学校家庭クラブ員となる。クラブ員全員が、家庭科で学んだ知識や技術を生かして、学校・地域社会に対して、下記に示す研究的・奉仕的・社交的な活動を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 研究的な活動：料理講習会、ホームプロジェクトなど 奉仕的な活動：エコキャップ収集、トイレ清掃、老人ホーム訪問など 社交的な活動：文化祭バザーなど 		
学習計画 と ねらい	<p><1学期末考査まで></p> <ol style="list-style-type: none"> 食べる <p><2学期末考査まで></p> <ol style="list-style-type: none"> 食べる 住まう <p><学年末考査まで></p> <ol style="list-style-type: none"> 生活をデザインしよう <p><年間を通して></p> <p>ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動</p>	<p>○栄養、食品、調理及び食品衛生などを科学的に理解し、必要な知識と技術を身に付ける。また、食文化に関心を持ち、安全と環境に配慮した食生活を営むことができる。 (調理実習：7回程度)</p> <p>○家族の生活を健康で快適に営むことができるように、住生活に必要な基礎的な知識と技術を身に付ける。</p> <p>○生涯を見通した自己の生活設計について考える。</p> <p>○家庭クラブの一員として各種行事に参加し、「創造」「愛情」「勤労」「奉仕」の精神を身に付ける。</p>	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4つの観点別評価基準について、出席状況・授業態度・実習・提出物・定期考査・家庭クラブ活動などの学習活動を参考に総合的に判断して評価する。 定期考査は、知識・理解を偏重することなく、4つの観点の評価ができるよう作問を工夫する。 		
その他			